

宝塚の女性起業家 兵庫県内で唯一のLED関西ファイナリストに



昨年の第4回LED関西の様子（LED関西ホームページより）



プレゼンテーションを行う本下瑞穂

経済産業省が実施する女性起業家応援プロジェクト「第5回LED関西」のビジネスプラン発表会で、宝塚の女性起業家 本下瑞穂（39）が兵庫県内で唯一、ファイナリスト10人に選ばれた。1月25日（金曜日）に大阪梅田のグランフロント大阪コングレコンベンションセンターにて、事業の支援者や地域のパートナーなど約500人を前にビジネスプランを発表する。

本下のビジネスプランは「宝塚発！デザイン原稿用紙で『見て』楽しむ作文教育」。デザイン原稿用紙とは、原稿用紙のマス目に、考えを整理する図形が埋め込まれたオリジナル商品。夏休みの読書感想文指導に悩むママ友の声から生まれた「読書感想文が、よく書ける原稿用紙。」と、2020年の教育改革を見据え開発した「小論文が、よく書ける原稿用紙。」の2種類を販売している。「読書感想文が、よく書ける原稿用紙。」は、地元宝塚の地域ブランド「モノ・コト・バ宝塚」の選定商品にも選ばれている。

また原稿用紙の服を着て行う、マンガやダンスを取り入れたユニークな「見て」楽しむ作文講座は、子ども達に好評。昨年は市内小学校や図書館などで開催された。現在は、宝塚南口にある「アフタースクールここね宝塚」にて、作文教室の講師を勤める。

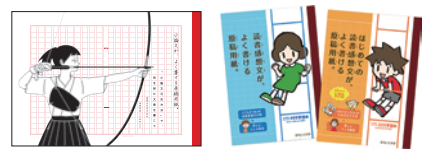
本下は、ビジネスプランの中で「伝える力を育む作文教育は、情報社会・国際社会を生きる力を育む大切な学び。作文の楽しさを、デザインの力で『見えるカタチ』として子ども達へ伝えたい」と話す。

2016年の第2回LED関西のファイナリストには、宝塚、山本にアトリエをかまえるラッピングアーティスト平木 安見子さんが選ばれている。本下は「憧れていた平木さんと同じLED関西の舞台に立てることになり本当にうれしい。起業に関しては、宝塚市の主催する起業塾や、宝塚商工会議所に一から教えていただいた。宝塚は女性起業仲間も多く、昨年コワーキングスペースがオープンするなど、起業に関して盛り上がっている地域。育てていただいた感謝の気持ちを忘れず、宝塚から作文教育を通して日本全国を元気にしていきたい」と、感謝の気持ちとビジネスへの熱い思いを語る。

LED 関西ホームページ <https://ledkansai.jp>

本下瑞穂（ほんげみずほ）プロフィール 1979年4月3日生まれ

グラフィックデザイナーとして企業の広報活動に携わり、結婚出産後、デザインを教育に活かしたいと宝塚にて起業。シニアボランティアスタッフとともに市内小学校などでオリジナル教材を使ったセミナーを多数開催。「見て」楽しく伝える力～作文力～を育む作文教育は、多くのマスコミに注目され、毎日放送「ちんぷいぷい」や、JCOM、Yahoo! ニュース、新聞・ラジオでも取り上げられている。



「小論文が、よく書ける原稿用紙。」 「読書感想文が、よく書ける原稿用紙。」

株式会社 コトバノミカタ（代表取締役 本下瑞穂）

電話：0797-26-8650 携帯電話：090-1913-9865 住所：〒665-0844 宝塚市武庫川町 4-14-802

サイト：<http://manabinomikata.com> メール：mizuho@manabinomikata.sakura.ne.jp